

博士前期課程(修士) / 健康看護学領域 / 看護デザイン分野
科目コード:21000401

看護デザイン特論Ⅱ Nursing DesignⅡ

担当教員	小林 宏光 垣花 渉 松田 幸久				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	バイオメカニクス, 環境適応, ユーザビリティ				
学習目的・目標	学習目的:看護技術, 療養環境または医療を取り巻くさまざまな要素の理解を深め、看護デザインにおける研究・開発プロセスについて学ぶ。 学習目標:人間の生理的, 心理的特性を理解し、これに適合した療養環境や看護技術を考究することができる。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1	オリエンテーション			講義	小林・垣花・松田
2	認知機能の観点からの看護デザイン(1)				松田
3	認知機能の観点からの看護デザイン(2)				松田
4	認知機能の観点からの看護デザイン(3)				松田
5	認知機能の観点からの看護デザイン(4)				松田
6	バイオメカニクスの観点から看護デザイン(1)				垣花
7	バイオメカニクスの観点から看護デザイン(2)				垣花
8	バイオメカニクスの観点から看護デザイン(3)				垣花
9	バイオメカニクスの観点から看護デザイン(4)				垣花
10	バイオメカニクスの観点から看護デザイン(5)				垣花
11	環境適応の観点からの看護デザイン(1)				小林
12	環境適応の観点からの看護デザイン(2)				小林
13	環境適応の観点からの看護デザイン(3)				小林
14	ユーザビリティの観点からの看護デザイン(1)				小林
15	ユーザビリティの観点からの看護デザイン(2)				小林
教科書	研究文献を随時紹介				
参考図書等	プリント等適宜配布				
評価指標	出席状況、討議内容 プレゼンテーション、課題レポート				
関連科目	看護デザイン論 看護デザイン演習Ⅰ 看護デザイン演習Ⅱ				
教員から学生へのメッセージ	この特論では文化的、医学生理学的、人間工学的な視点からよりよい看護のデザインを探究します。				